

【2025 年度計画】

- 2024 年度診療報酬の改定を踏まえるとともに 2026 年度改定を見据え、より安心・安全で質の高い医療及び介護の提供を目指す。
- 院内感染防止対策の徹底及び医療安全管理に対する取り組みの強化など、医療安全体制の確立を図る。
- 外来診療の待ち時間の改善及び院内環境の計画的な整備等に取り組み、患者サービスの向上を図る。
- 医療スタッフの育成・確保に努めるとともに、スキルアップのための研修を強化する。
- 関連事業所や関係機関と連携を密にし、地域包括ケアシステムの推進を図る。

【第 4 期中期計画（2025.4～ 2028.3）】

1. 「医療スタッフの技術向上及び定着化」

第 1 の柱として、一般病棟（地域包括ケア病床を含む）及び回復期リハビリテーション病棟における多種多様な疾患に対する看護サービス及びリハビリテーションの提供が可能となるよう「医療スタッフの技術向上及び定着化」を位置づける。

 - 看護・リハビリスタッフの増員及び個人スキルの向上
 - 看護、リハビリテーション及びその他の医療技術者等の連携強化
 - 各部署における次世代リーダーの育成及び新規採用職員の確保
 - 長時間労働の解消、高齢者就労促進及び処遇改善等の働き方改革に沿った支援
2. 「医療安全対策、院内感染対策の強化」

第 2 の柱として、「医療安全対策マニュアル」の内容を職員一人ひとりに浸透させるとともに、最新の知見に基づいた院内感染対策に取り組み、医療安全対策、感染症予防、情報収集、まん延防止、医療提供等の施策に適切なる行動を行う。
3. 「地域医療への貢献」

第 3 の柱として、急速な少子高齢化等により、地域における医療の在り方の見直しが進められる中において、地域ニーズを的確にとらえながら、病棟編成及び機能充実について不断の見直しを行う。

また、法人全体として運営する医療系サービス、居宅系サービス、在宅系サービス等との連携強化により、病院機能をより有効に展開し、地域医療へ貢献する。
4. 「地域に愛される病院づくり」

第 4 の柱として、美摩病院は 2022 年度に開院 60 年となっているが、これからも地域住民に支持され、常に地域に愛される病院づくりを目指していく。

さらに、緊急事態時の被害を最小限に抑え事業の継続や復旧を図る事業継続マネジメント（BCM）の確立を目指す。